

分節

今年は南南東から福が来る



系でんわ

【発行】

リハビリセンター
グリーンTAOKA
広報委員会

徳島市川内町
北原31-3
088-678-5555



第326号



2月3日節分の日、グリーンTAOKAでは、入所されているご利用者様と通所リハビリのご利用者様に、厚食に恵方巻きを食べた後、皆様に豆まきを行い、節分行事を楽しんで頂きました。

職員が扮するお福さん（左写真）と赤鬼が登場すると、「うわっ」と驚かれたり「あれ誰かしよんかいな？」と笑ったり、皆さまそれぞれの反応をされていました。

暴れる鬼に対して、事前に職員と一緒に作って頂いたお花紙の豆を「鬼は外、福は内」と一生懸命ぶつけて無事に鬼退治も出来ました。その後、改心した鬼（笑）と一緒に



「豆まき」「鬼のパンツ」を歌い、記念撮影までして（笑）ご利用者様に楽しんで頂きました。

ちなみに、余談にはなりますが、いつも恵方に向けて巻き寿司一本を丸かじりしていても、途中で喋ってしまい、福が逃げていく私です（笑）

今年の恵方は南南東でしたが、皆さまは最後まで静かに願い事をしながら食べられましたか？

グリーンTAOKAでは、季節の行事を通して、皆様が一年間楽しく



鬼と記念撮影！？



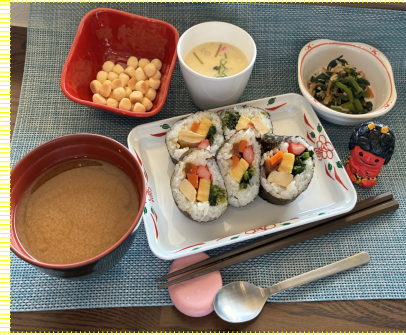
福の神が南南東より来設！

お元気で過ごせるように努めてまいります。

（通所リハビリ 熊谷美智子）



行事食



立春を前に、まだまだ寒さの厳しい季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。2月3日の節分には、無病息災を願い、季節の変わり目を元気に迎えるための行事食をご用意しました。

巻きずしには、かんぴょう、ほうれん草、高野豆腐、かにかま、卵焼き、人参を彩りよく巻き込みました。恵方を向いて静かにいただく風習もありますが、皆さまの安全を第一に、食べやすい大きさに切って提供しています。また、海苔巻きが食べにくい方には、酢飯の風味をそのまま味わえる酢飯粥をご用意し、皆さまが安心して行事食を楽しめるよう配慮しました。温かい茶わん蒸しには鶏肉、赤板、三つ葉を入れ、ほっと心がほぐれるようなやさしい味に仕上げました。

通所だより

げました。副菜には春の訪れを感じる菜の花のおひたしを添え、節分汁では大豆の香ばしさと野菜の旨味を楽しんでいただきました。大豆には「魔を滅する」という意味があり、昔から健康を願う食材として親しまれています。これからも、季節を感じられる行事食や、皆さまの体調に寄り添った献立づくりに努めてまいります。まだまだ寒さが続きますので、温かくしてお過ごしください。

(管理栄養士 竹野有希子)

重く低い冬雲から、時折顔を出すお陽さまが、窓越しには暖かいけれど、外を吹く風はまだまだ冷たい季節ですね。

そんな中、通所リハビリでは、心も身体も温まろうと、皆さまで「おしるこ」作りをしていただきました。



材料は、絹ごし豆腐と白玉粉、片栗粉も少し入れてみました。豆腐を入れる事で、植物性のたんぱく質もとれるし、食感もやわらかくなるからオススメです。

女性のご利用者様には、混ぜて、練って、すくって、ゆでる作業をお願いして、男性のご利用者様には、あんこの作成を依頼しました。



職員も加わり、「うーんまだちよい」「よいいける」と絶妙な塩梅で仕上げ、皆で完成までの過程を楽しみながら作る事ができました。

おやつに食べている時にも、「最高やな」「うまい」「からだが温まる」「また作ろうな」と喜びの声が聞こえてきて、ご利用者様のみならず、職員の心もポカポカになりました。

(通所リハビリ 白石美砂子)

作品介绍



制作の様子

リハビリセンターグリーンTAOKAでは、希望されたご利用者様を対象に、余暇活動や作業レクの一環として、個人作品を制作して頂いております。

今回はブレスレット作りなので、参加されたご利用者様も女性の方ばかりでしたが、思い思いのパーツを選んで頂き、ご自分でワイヤーを通して方には通してもらい、難しい方に

は職員がサポートしながら制作しました。

ブレスレットは、手首を彩るおしゃれなアクセサリであり、デザインや素材によっては、華やかにもシンプルにも印象を変える事ができます。今回制作したものはパールを基調として、上品な仕上がりになり、制作されたご利用者様も自然と笑顔になられており、ご満悦の様子でした。

(介護部 川田賢志)



完成したブレスレット

施設の予定

3月3日 (火)
桃の節句
3月4日 (水)
通所・散髪会
3月5日 (木)
入所・散髪会
3月19日 (木)
グリーンカフェ
3月27日 (金)
ばん小屋れもん

